看護フェア

5月10日草津イオンモールセントラルコートで看護フェアが行われました。参加者は約500名でした。

看護師の制服着用体験や聴診器で心音や肺音の確認、傷口の消毒やガーゼあて、赤ちゃんのお世話、妊婦体験、心臓マッサージ、災害支援ナースや看護の仕事を紹介しました。

看護学校の説明ブースには将来老人ホームで働きたいという小学生が真剣に話を聞いていました。聴診器を首にかけてにこやかに写真撮影をされている姿があちこちで見られました。

こんにちは事務局です

理事会報告（令和8年度 第1回理事会） 2026.5.16㈯

Ⅰ あいさつ

Ⅱ 決議事項

1. 令和7年度事業結果（報告）について
   - ①重点事業および主要事業報告（定款第4条に基づく事業）
   - ②職能委員会
   - ③地区支部
   - ④常任委員会
2. 令和7年度決算（案）について
3. 令和7年度決算審査結果について（監査報告を含む）
4. 職能委員会委員選任について
   地区支部役員の選任について
5. 認定看護管理者教育課程特別委員会設置について

Ⅲ 協議事項

1. 令和9年度県などへの予算要望（案）について
2. 職能委員会審議事項および
   常任委員会諮問事項（案）について
3. 通常総会開催に向けて

Ⅳ 報告事項

1. 業務執行理事報告
2. 「在宅ケアセンターみのり」運営について

Ⅴ その他

1. 地域医療介護総合確保基金について

理事会報告（令和8年度 第2回理事会） 2026.6.20㈯

Ⅰ あいさつ

Ⅱ 決議事項

1. 役員の選任（案）について
2. 業務執行理事の業務分担（案）について
3. 令和8年度常任委員会委員一部変更について

Ⅲ 報告事項

1. 令和8度理事会等地区支部長（地区理事）連携会議の
   年間予定について
2. 令和7年度地域看護ネットの報告会
   （令和8年7月18日 9:30～12:00）
3. 令和9年度予算・政策に関する要望書
4. 業務執行理事報告
   日本看護協会総会

Ⅳ その他

1. 理事・役員専用ページについて
2. 理事・監事就任（新任・再任・留任）に伴う諸手続きについて

投稿大募集!!

「表紙の写真」「会員の声（ご意見・ご感想）」に投稿をお待ちしています。とりあげて欲しい内容でもけっこうです。広報委員が取材に行きます。ふるってご応募ください。詳しくはホームページ「委員会からのお知らせ」をクリック！

▶次回発刊は10月中旬予定です。

広報紙「ナースレーク」

Nurse Lake

Vol.171
2026年7月

公益社団法人 滋賀県看護協会

CONTENTS

ごあいさつ……2
令和8年 春の叙勲・受賞表彰……3
令和8年度 重点事業ならびに事業計画……4
令和8年度 日本看護協会 通常総会報告……5
令和8年度 役員・委員・地区支部役員……6～7
地区支部だより……8
委員会活動報告（保健師職能/助産師職能/看護師職能Ⅰ/看護師職能Ⅱ）…9
CHECK! 研修情報……10
認定看護管理者教育課程制度が変更になります！……10
滋賀県ナースセンター……11
看護フェア……12
こんにちは事務局です……12

発　行　所●公益社団法人 滋賀県看護協会
発行責任者●会長 草野とし子
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号
TEL.077-564-6468　FAX.077-562-8998
https://shiga-kango.jp/

モバイルサイト
滋賀県看護協会 検索

三方良し精神で 看護の力で
滋賀を元気に!
―住み慣れた地域で健康に暮らせるために―

滋賀県看護協会会員数（令和8年6月7日現在）

保健師/ 265人　助 産 師/ 335人
看護師/ 7,786人　准看護師/ 107人
合計 8,493人

令和8年度
「看護の魅力」を薫る風にのせて

公益社団法人滋賀県看護協会 会長　草野 とし子

令和8年度滋賀県看護協会通常総会を開催し、新たな執行体制のもとで新年度がスタートいたしました。会員の皆様の日頃からのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。本年度も、看護職一人ひとりが安心して力を発揮できる環境づくりと、県民の健康と暮らしを支える活動の充実に努めてまいります。

“少子化の中で看護の魅力発信”

2040年に向けて社会全体が大きく変わりつつある中で、今、看護職不足が大きな課題となっています。その中で、看護職の確保と定着の両側面で取り組みを進めてきています。特に、若年層を対象とした「看護の魅力発信」については、その対象を中学校や小学校にまで拡大し多くの方の参加を得て開催することができました。

また、「一日看護体験」は、看護を志す高校生にとって進路決定に大きな影響を与えていますが、それを小学生・中学生へと対象を広げながら、看護の魅力を発信しています。医療現場を実際に体験することは、看護をより身近に感じ、自らの将来を考える大きなきっかけとなります。未来の看護人材を育てるためには、地域全体で看護を支えていくことが重要であり、引き続き関係機関の皆様と連携して取り組んでいきたいと考えております。

“自ら学びを深める看護職”

看護の質向上に向けた取り組みにおいては、生涯学習支援の考え方でもある「わたしがまなびの主体です！」に沿って、多様な分野で活躍する看護職それぞれが描くキャリアアップ支援ができるよう、研修の充実を図り、新たな研修も企画しました。

AIやICTの活用が進む時代にあっても、人に寄り添い、その人らしい暮らしを支える看護の価値は変わりません。社会が大きく変化する今だからこそ、看護職にはこれまで以上に柔軟で創造的な対応力が求められます。看護職一人ひとりが主体的に学び、専門性を高め、多職種と協働しながら、地域を支える視点を持つことが重要です。また、認定看護管理者教育制度の改正を見据え、新たな看護管理者研修を開始する準備を進めるなど、多様なキャリア形成の支援を進めています。看護管理は管理者だけの学びではありません。質の高い看護を提供するために必要な視点として、多くの看護職の皆様に学んでいただきたいと考えております。

“地域看護力の充実を！”

地域包括ケアシステムの深化が求められる中、病院、診療所、訪問看護ステーション、介護施設、行政など、あらゆる場で働く看護職がつながり、地域看護力を発揮して、地域全体を支える仕組みが重要となっています。

特に地域・在宅での生活を支えるためには、在宅療養の要でもある看護職同士が協働することも重要です。「治す医療」から、「治し支える医療」へと変化するこれからの時代、病院や診療所の外来看護は、さらに重要な役割を果たすことが求められます。地区支部活動や地域看護ネットの活動は、その要となる取り組みです。看護職同士の顔の見える関係づくりを進め、地域の課題を共有しながら、滋賀県らしい連携の力をさらに高めていくことが重要です。

日本看護協会は「看護の将来ビジョン2040」において、「その人らしさを尊重する生涯を通じた支援」「専門職としての自律した判断と実践」「キーパーソンとしての多職種との協働」の3つの挑戦を掲げました。2040年に向け、人口減少や超高齢社会など医療を取り巻く環境は大きく変化します。その中で看護には、地域で暮らす人々の「いのち・暮らし・尊厳」を守り支える役割が、これまで以上に期待されています。

滋賀県看護協会は、「三方よし精神で　看護の力で滋賀を元気に！」を合言葉に、会員の皆様とともに地域に根ざした看護を実践し、県民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指してまいります。引き続き、本会事業への温かいご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

受賞おめでとうございます

永年のご活躍に敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。※敬称略

令和8年 春の叙勲 瑞宝単光章

吉岡　千晴

高島市民病院

看護功績章

北林　栄	甲賀市役所
馬場一二三	公益社団法人滋賀県看護協会
末武　美里	高島市民病院
小寺　利美	滋賀医科大学医学部附属病院

看護功労者知事表彰

西本　美和	大津市役所
堀尾　満代	うたな助産所
矢田　晴美	彦根中央病院
中嶋登美子	東近江市立能登川病院
伊波　早苗	淡海医療センター
橋添　礼子	大津赤十字病院
武内美英子	高島市民病院
廣瀬　京子	甲南病院
木村　里美	済生会滋賀県病院
秋宗　美紀	彦根市立病院

日本看護協会長表彰

松並　睦美	特別養護老人ホーム淡海荘
岡田　幸子	公益社団法人滋賀県看護協会

滋賀県看護協会長表彰

高木　久代	滋賀県湖北健康福祉事務所（長浜保健所）
田中佐和子	滋賀県甲賀健康福祉事務所（甲賀保健所）
松浦さゆり	滋賀県湖東健康福祉事務所（彦根保健所）
中野　育子	滋賀医科大学医学部附属病院
新木　貴枝	市立長浜病院
石田　朋子	大津赤十字病院
大谷まどか	訪問看護ステーションすばる
奥野さゆり	淡海ふれあい病院
小野　陽子	長浜赤十字病院
川合　香苗	滋賀医科大学医学部附属病院
北岡　聡美	大津赤十字看護専門学校
北川　有紀	滋賀医科大学医学部附属病院
郡　嘉代子	高島市民病院
駒井　和子	訪問看護ステーション オリーブのさと
高橋智都子	市立大津市民病院
椿原　弘美	淡海医療センター
中谷麻美子	東近江市立能登川病院
西川真名美	高島市民病院
西村　好栄	長浜赤十字病院
萩野　香	大津赤十字病院
林　美保	市立大津市民病院
坂東恵美子	彦根市立病院
藤原　博子	彦根中央病院
堀井　優紀	大津赤十字病院
前川　直美	高島市民病院
毛利由布子	市立長浜病院
八木美智子	滋賀県立看護専門学校
脇坂ひろみ	長浜市立湖北病院

令和8年度 滋賀県看護協会長表彰受賞者記念撮影

令和８年度重点事業ならびに事業計画

滋賀県看護協会では、定款の目的に示す「県民の健康な生活の実現に寄与する」の実現に向けて重点事業を掲げて、活動を推進しています。

日本看護協会では、少子高齢化が進む今、次なる照準となる2040年までに想定される社会、医療の変容を踏まえ、その変化に対して看護が進むべき方向性、そのために何をすべきかを「看護の将来ビジョン2040」として提示しました。その中で、看護職は2040年に向けて、「その人らしさを尊重する生涯を通じた支援」「専門職としての自律した判断と実践」「キーパーソンとしての多職種との協働」の3つの目標に挑戦していくとしています。

滋賀県看護協会においても、このビジョンに沿って事業を推進することが必要です。

- ■ 人生100年時代に生涯にわたり活躍する看護職の学びの支援
- ■ 労働力人口の減少する中での看護職等の確保・定着
- ■ 全世代の健康を支える看護機能の強化
- ■ 感染症や自然災害等の体制整備
- ■ SDGs実現に向けた取組みへの参画「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals、SDGs）

重　点　事　業

❶あらゆる場での看護の質向上のための看護実践能力の強化

①看護職が専門職として主体的に生涯学習をすすめること及び看護実践能力向上への支援
②看護職個々のキャリア形成及びウエルビーイングを組織で支援することへの強化
③基礎教育・新人教育・生涯学習の各段階を通じて、シームレスに看護職を育成する体制の推進
④様々な分野で活躍する看護職の看護実践能力の向上とやりがい支援
⑤災害等健康危機管理における看護実践能力の向上

❷看護職等の確保定着及び働き続けられる職場環境づくりの推進

①若年層に加え幅広い対象に看護の魅力発信を強化
②多様な場と働き方を推進し地域に必要な看護職の確保・定着を支援
③看護補助者確保・定着推進を支援
④生涯を通じて健康に働き続けるためのヘルシーワーク推進を支援
⑤看護職の専門性を発揮するための、タスク・シフト/シェア推進の支援

❸全世代型地域包括ケアシステムの推進と多職種連携

①地区支部活動や地域看護ネットの推進による地域包括ケアの実現
②在宅療養を支える訪問看護や看多機および介護施設等の看護サービスのさらなる質向上
③地域における病院・診療所の外来看護機能の充実
④健康寿命延伸を目指した看護活動の推進
⑤安心して生み育てるための看護職連携強化

❹組織力強化

①看護職の活動・実践におけるSDGs実現に向けた取組への参画
②「かいつぶりのわ」広報誌や「看護の日」イベント等により、県民への看護活動のピーアール継続
③専門職能団体の意義の啓発により、会員増をめざした取り組み強化
④災害支援・受援体制の充実

令和８年度 日本看護協会 通常総会報告

市立長浜病院　伊藤 雅子

令和8年6月11日（水）、千葉県幕張メッセにて、日本看護協会通常総会が開催され、全国都道府県の代議員749名が参加した。日本看護協会長表彰者として滋賀県からは、2名が受賞された。

第1号議案における名誉会員の推薦は17名、第2号議案では、2026年度改善役員及び推薦委員の選出で、候補者の紹介、選挙が行われ、選挙の結果、候補者全員が選出された。

令和7年度の日本看護協会の取り組み、令和8年度の方向性について報告

1．2040年度を見据えた看護提供体制への取り組み

「2040年度を見据えた看護提供体制のあり方」を昨年度公表。地域全体で療養生活を24時間支える体制構築を進めるにあたり、地域の看護職の連携・協働のより一層の推進、かつ病院看護師の地域間の偏在の可視化が必要。

2．質と量　両面からの看護職の確保

2040年に向け18歳人口が減少する中、限られた人数で質の高い看護を効果的・効率的に提供するための策として、「看護師基礎教育の4年制大学一本化、保健師・助産師教育は大学院で行う方針が決定。一人一人の卒業時の実践能力向上を目指す。

3．みんなでつくる、看護職のウェルビーイング

看護職が生涯を通じてさまざまな場で力を発揮するために、看護職自身のウェルビーイング向上が欠かせず、「看護職の『多様で柔軟な働き方』導入応援ブック」を公表。看護職の働き方に対する考え方を大きく転換していく機運の向上。

4．看護職一人ひとりの質向上にむけて

すべての看護職が看護管理の視点を学び看護職全体のマネジメントの質向上を目指し、認定看護管理者教育を見直し、「看護管理研修」と「新たな認定看護管理者教育」の2つに整理。看護職一人ひとりのキャリア構築や資質向上に利用するツールとして、NuPSを構築。

5．保健・医療・介護に係る政策動向と看護への影響

1）介護報酬・生涯福祉サービス等報酬の臨時改定において、在宅・介護領域で働く看護職の処遇改善に対して、処遇改善加算の対象範囲の拡大が実現。しかし病院看護師の基本給の上昇率の低さなど実態を可視化した課題認識の促進、実効性の処遇改善の取り組み継続。

2）令和8年度診療報酬改定により新設された「急性期病院A/B一般入院基本料」や「看護・多職種協働加算」における看護管理者のマネジメント力の発揮が求められ、認定看護管理者制度の充実、人材育成や活躍支援に向けた取り組み推進。

3）令和7年労働安全衛生法の改正による事業場におけるストレスチェックの義務化によるメンタルヘルス対策及び産業保健師の役割遂行、労働施策総合推進法の改正によるカスタマーハラスメントの防止対策が事業主の義務化により、看護職への暴言暴力・ハラスメントを許さない決意を社会に向けて表明。

4）オンライン診療が法的に定義されたことを機に、「D to P with N」における看護職の活躍推進。

5）各段階（基礎教育・新人教育・生涯学習）を通じてシームレスな看護師育成の体制の整備、及び看護の専門性を発揮できる人材育成に向けた4年制大学一本化の方針の取り組み。

以上が示された。

これらの日本看護協会の施策、取り組みのもと、滋賀県看護協会、並びに各支部単位において、看護職が生き生きと働き続けられる活動、また未来の看護師確保に向けた看護の魅力発信へと活動を進めていきたいと考えている。

令和8年度 役員・委員・地区支部役員 ※敬称略

滋賀県看護協会 役員

会長	保	草野とし子	滋賀県看護協会
副会長	助	吉岡　千晴	高島市民病院
副会長	看	松並　睦美	特別養護老人ホーム淡海荘
副会長	保	西本　美和	大津市役所
常務理事	看	岡田　幸子	滋賀県看護協会
常務理事	看	村中千栄子	滋賀県看護協会
常務理事	助	早川ひと美	滋賀県看護協会
職能理事	保	松浦さゆり	湖東健康福祉事務所（彦根保健所）
職能理事	助	谷川摩里子	近江八幡市立総合医療センター
職能理事	看	小寺　利美	滋賀医科大学医学部附属病院
職能理事	看	大谷まどか	訪問看護ステーションすばる
第一地区理事	看	伊富貴初美	大津赤十字病院
第二地区理事	看	北尾知恵子	市立野洲病院
第三地区理事	看	藪下　初代	甲南病院
第四地区理事	看	奥村　茂	青葉病院
第五地区理事	看	早川　初美	友仁山崎病院
第六地区理事	看	伊藤　雅子	市立長浜病院
第七地区理事	看	角田　智也	今津病院
准看護師理事	准	佐野　亜紀	淡海ふれあい病院
外部理事	一般	谷口　郁美	社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会
監事	看	伊藤美千代	個人
監事	保	今堀　初美	個人
監事	一般	木村孝一郎	個人

職能委員会

保健師職能委員	委員長	保	松浦さゆり	湖東健康福祉事務所（彦根保健所）
		保	木村　理加	大津市役所 子どもの育ち支援課
		保	三津川さつき	守山市役所 子育て応援室
		保	徳谷　有香	甲賀保健所 健康危機管理係
		保	坂田　敦子	日野町 長寿福祉課
		保	北村　聖子	愛荘町 健康推進課
		保	中西　玲子	長浜保健所健康危機管理係
		保	杉本　留美	高島市役所 健康推進課
助産師職能委員	委員長	助	谷川摩里子	近江八幡市立総合医療センター
		助	安川　七恵	大津赤十字病院
		助	中井　愛	滋賀医科大学医学部附属病院
		助	三田村七福子	淡海医療センター
		助	角山　尚美	近江八幡市立総合医療センター
		助	中尾　照美	清水産婦人科
		助	津田まゆみ	長浜赤十字病院
看護師職能Ⅰ委員	委員長	看	小寺　利美	滋賀医科大学医学部附属病院
		看	仁志出幸子	市立大津市民病院
		看	内田真由美	済生会守山市民病院
		看	大槻　美幸	国立病院機構紫香楽病院
		看	竹内　真紀	東近江総合医療センター
		看	香川　純子	彦根市立病院
		看	毛利由布子	市立長浜病院
		看	山極　恵子	高島市民病院
看護師職能Ⅱ委員	委員長	看	大谷まどか	訪問看護ステーションすばる
		看	中出たけみ	特別養護老人ホーム淡海荘
		看	片山　裕貴	琵琶湖大橋病院訪問看護ステーション
		看	増田美也子	看護多機能小規模型居宅介護施設 ナーシングホームすずらん
		看	吉村　秀隆	スキナヴィラ水口
		看	昆陽有希恵	滋賀県済生会訪問看護ステーション
		看	海津千津子	介護老人保健施設湖北やすらぎの里
		看	木下　宏恵	介護老人保健施設陽光の里

常任委員会

教育委員会	委員長	看	水谷　清美	高島市民病院
		看	古川　晶子	公立甲賀病院
		看	藤本　理恵	大津赤十字病院
		看	猪飼　俊行	済生会滋賀県病院
		看	北岡　聡美	大津赤十字看護専門学校
		助	西川　早織	滋賀医科大学医学部附属病院
		看	間惣　友紀	生田病院
		看	宮田　淳	市立野洲病院
		看	山﨑　多恵	彦根市立病院
		看	森木　美佐	神崎中央病院
		保	寺田　裕美	東近江保健所
		看	新木　貴枝	市立長浜病院
認定看護管理者教育運営委員会	委員長	看	河上　圭代	滋賀医科大学医学部附属病院
		看	西村　路子	滋賀県立総合病院
		看	小森久美子	市立野洲病院
		看	米田　照美	滋賀県立大学
		看	赤尾　順子	琵琶湖中央リハビリテーション病院
看護学会委員会	委員長	看	大内正千恵	琵琶湖病院
		保	秋岡　悠	（株）クラブハリエ
		看	奥　佳奈	淡海ふれあい病院
		看	野田　智子	滋賀県立総合病院
		看	馬場　好恵	聖泉大学
		看	玉川あゆみ	滋賀県立大学
		看	西村　洋子	滋賀県立看護専門学校
看護活動推進委員会	委員長	看	小野　陽子	長浜赤十字病院
		看	梅田　梨紗	ひかり病院
		看	新田小百合	大津赤十字志賀病院
		看	戸上　純子	市立野洲病院
		看	與那城隆幸	水口病院
		看	久田　由香	近江温泉病院
		看	千嶋　恵梨	友仁山崎病院
労働環境改善委員会	委員長	看	中井　純子	公立甲賀病院
		看	今井　聡美	ひかり病院
		看	安田　浩二	滋賀県立精神医療センター
		看	横山　愛功	近江八幡市立総合医療センター
		看	井邊久美子	彦根中央病院
		看	伊吹　美加	長浜市立湖北病院
		看	石黒　徳章	今津病院

広報委員会	委員長	看	梶本久仁子	滋賀県立総合病院
		看	奥田　卓也	滋賀里病院
		看	田村　麻里	市立大津市民病院
		看	藤井　みき	ヴォーリズ記念病院
		看	丸山恵身佳	南草津病院
		看	山中　曜子	甲南病院
		看	渡辺　奈々	彦根市立病院
災害看護推進委員会	委員長	看	中村　大介	高島市民病院
		看	成宮　未穂	滋賀医科大学医学部附属病院
		看	中村　紀夫	済生会滋賀県病院
		看	河野ひとみ	公立甲賀病院
		看	山本　武虎	湖東記念病院
		看	田中　和子	豊郷病院
		看	木村　和也	長浜赤十字病院
医療安全推進委員会	委員長	看	横田こず江	豊郷病院
		看	山中　利加	市立大津市民病院
		看	石田　朋子	大津赤十字病院
		看	丹野　和美	滋賀県立総合病院
		看	吉嵜　直美	ヴォーリズ記念病院
		看	木田　陽子	公立甲賀病院
		看	北村　文代	市立長浜病院

その他委員会

推薦委員会	看	中谷　智恵	大津赤十字志賀病院
	看	小田裕美子	滋賀県立総合病院
	保	北相模有希	公立甲賀病院
	看	川﨑恵利香	ヴォーリズ記念病院
	看	北村　奈緒	彦根中央病院
	助	岸本　尚子	市立長浜病院
	看	井上　照恵	マキノ病院
選挙管理委員会	看	木村加奈絵	琵琶湖大橋病院
	看	平井　由香	済生会守山市民病院
	看	藤平しおり	国立病院機構紫香楽病院
	看	横内真由美	近江八幡市立総合医療センター
	保	河合美貴子	甲良町保健福祉課
	保	藤林　祐子	湖北健康福祉事務所
	看	西川真名美	高島市民病院

令和9年度 日本看護協会通常総会 代議員

松浦さゆり	保	滋賀県湖東健康福祉事務所（彦根保健所）
谷川摩里子	助	近江八幡市立総合医療センター
小寺　利美	看	滋賀医科大学医学部附属病院
松並　睦美	看	特別養護老人ホーム淡海荘
村中千栄子	看	滋賀県看護協会
伊富貴初美	看	大津赤十字病院
藪下　初代	看	甲南病院
早川　初美	看	友仁山崎病院
角田　智也	看	今津病院
稲嶺　円	准	彦根中央病院

令和9年度 日本看護協会通常総会 予備代議員

西本　美和	保	大津市役所
吉岡　千晴	助	高島市民病院
岡田　幸子	看	滋賀県看護協会
大谷まどか	看	訪問看護ステーションすばる
早川ひと美	助	滋賀県看護協会
河上　圭代	看	滋賀医科大学医学部附属病院
三﨑美佐子	看	済生会滋賀県病院
川上美智子	看	近江温泉病院
馬場　直哉	看	長浜市立湖北病院
和田かおり	准	甲西リハビリ病院

地区支部役員

第1支部	支部長	伊富貴初美	大津赤十字病院
	副支部長	高橋智都子	市立大津市民病院
	書記	板谷　理絵	大津赤十字志賀病院
	広報	堀切　利香	JCHO滋賀病院
	会計	野中　梓	滋賀県健康医療福祉部医療政策課
第2支部	支部長	北尾知恵子	市立野洲病院
	副支部長	竜野真奈美	淡海ふれあい病院 草津介護医療院
	書記	山田　正美	南草津病院
	広報	桐村麻友香	滋賀県南部健康福祉事務所（草津保健所）
	会計	篠田　寧美	草津看護専門学校
第3支部	支部長	藪下　初代	甲南病院
	副支部長	石井　淳子	生田病院
	書記	下田恵利奈	湖南市役所
	広報	前野　雅和	公立甲賀病院
	会計	岩井　祐樹	紫香楽病院
第4支部	支部長	奥村　茂	青葉病院
	副支部長	下舞真由美	滋賀八幡病院
	書記	内藤　朋子	東近江市立能登川病院
	広報	古池めぐみ	神崎中央病院
	会計	福井　猛	日野記念病院
第5支部	支部長	早川　初美	友仁山崎病院
	副支部長	木村　千江	豊郷病院
	書記	児玉　好重	彦根市立病院
	広報	山口　愛実	彦根中央病院
	会計	河合美貴子	甲良町保健福祉課
第6支部	支部長	伊藤　雅子	市立長浜病院
	副支部長	上野　美保	長浜赤十字病院
	書記	藤林　祐子	湖北健康福祉事務所
	広報	宮崎　功将	セフィロト病院
	会計	川瀬さゆり	滋賀県立看護専門学校
第7支部	支部長	角田　智也	今津病院
	副支部長	松井奈津子	介護老人保健施設 陽光の里
	広報	山本　知世	高島市民病院
	会計／書記	上原総梨奈	高島市役所

一年間よろしくお願いします。

7地区活動報告 地区支部だより

第1地区支部

支部長 北川 有紀

【重点1.看護実践能力の強化】●7月12日㈯開催：第1地区支部集会・第1回研修会（参加者56名）メンタルヘルス研修「誰もが生き生き働ける職場づくりのために」講師：光岡由紀子／●出前講座「スペシャリストに学ぶ」9月～12月にかけて、7施設で実施

【重点2.働き続けられる職場環境づくりの推進】●1月24日㈯開催：第1地区支部・看護ネット共催研修会（参加者70名）「地域看護力向上のためにできること」講師：大津圏域で勤務する6名の看護職

【重点3.地域看護力の向上】●年2回「しぶたより」を発刊「地区支部活動の報告」「看護ネットの活動」などを掲載

【重点4.組織力の強化】●10月19日㈰：大津健康フェスティバルに参加「大津の保健室」として、大津市民向けにBLS・AED講習、子ども向けに白衣体験を実施／●わたSIGA輝く国スポ・障スポリハーサル大会に参加：5施設・113名の看護職員が協力

第2地区支部

支部長 北尾 知恵子

❶研修会 キーワード『ウェルビーイング』：第1回目（6月）心と体がラクになる、涙のちからの使い方と題して「涙活」を体験する／第2回目（11月頃）働き続けられる職場環境づくり（仮）心理的安全性についての研修予定／第3回目（2月頃）「看護をつなぐコアネット」と共催にて実施予定

❷看護職確保に向けた取り組みとして、9月に希望ヶ丘の秋祭りに出店し一般市民に向けての看護職PR、かんごちゃんの参加予定

❸支部内の専門・認定看護師のリソース活用として出前講座の実施

第2地区支部では、昨年度連携強化に向けての研修会を実施、様々な医療職が語ることで、抱えている問題・課題を共有し、途切れない支援を目指す第一歩につなげられた。今年度は、看護職自身にも目を向けて自分たちを大切にすることでよい看護ができるよう取り組みをすすめていく。

第3地区支部

支部長 大西 明子

令和7年度、第3地区支部では、地域の看護職確保とネットワーク強化を目的に、多彩な活動をしました。看護研究発表会や地域包括ケアフォーラムでは、施設や職種を越えた意見交換が活発に行われ、相互理解と連携強化につながりました。また、リフレッシュ研修や交流の場づくりを通して、顔の見える関係の構築を大切にしてきました。さらに、甲賀圏域看護職確保ワーキングと共催した、地域の子どもたちを対象とした看護体験では、包帯法や聴診、AED体験に笑顔で取り組む姿が見られ、看護への関心を高める機会となりました。これらの体験が、未来の看護職確保へとつながっていくことを願い、今後も地域に根差した看護のつながりを育んで参ります。

第4地区支部

支部長 奥村 茂

令和7年度後期の主な活動は、11月9日㈰「東近江健康・医療フェア2025」に支部役員と連絡委員がまちの保健室として出展し、手洗いトレーニング、血管年齢測定、肌年齢測定、キッズナース体験＆写真撮影を行い、延べ327名の来訪者に体験していただきました。また、12月20日㈯には、東近江圏域看護職ネット事業として「地域包括ケアフォーラム」を開催しました。今回は【外来連携】をテーマに圏域内外の3病院から取り組みを報告していただき、参加者全員でグループワークを通じてテーマについて考えていくことが出来ました。尚、フォーラムや研修会は、圏域看護職の顔の見える関係づくりの機会になりますので、令和8年度もより多くの方の参加をお願いします。

第5地区支部

支部長 藤田 晶子

地区支部の連携強化と看護力の向上を目指した活動

▲発表者が自身の看護を発表後、ファシリテーターが参加者にディスカッションを促している様子

❶9月13日：研修会「ファシリテーション研修」（参加者42名）ロールプレイを中心とした研修で、ファシリテーターとして「聴く」ことの重要性や、相手に関心を持ち、周りを見ながら繋ぐ役割を学んだ。

❷11月8日：聖泉大学「万聖祭」で手洗いチェック・指導（参加者201名）幅広い世代が来場し、手洗いの重要性を再確認してもらうことができた。

❸12月3日：出前講座「せん妄を最小限に抑える看護」（参加者43名）せん妄予防と早期対応の実践的な看護を学ぶ機会として、認定・専門看護師による講義を行った。

❹2月14日：全世代型地域包括ケア推進フォーラム「看護の錬金術師ナラティブ」（参加者63名）9月のファシリテーション研修受講者がファシリテーターを務め、中堅看護職8名がナラティブを実施、活発なディスカッションが行われた。

第6地区支部

支部長 伊藤 雅子

❶研修会：今の私の原動力～忘れられない看護エピソード～／地域の様々な職場で働く看護職、看護に関わる方々に、経験談を通じて、様々な「看護」のかたち・魅力を発信していただきました（64名参加）

❷研修会：なみだが教えてくれるこころの活かし方～感情デトックスで、明日の私にエネルギーを～〈涙活療法士吉田英史先生〉（69名参加）個々のストレスマネジメントを考える機会としました

❸看護ネットとの連携：●長浜市コミュニティカレッヂ「学園祭」に参加しました。高齢者・妊婦体験、白衣着用等実施し、かんごのお仕事の魅力を発信しました。／●看護管理者実践報告会を開催しました〈6題〉（45名参加）

❹湖北圏域看護職連携会議・事例検討会〈4事例〉（330名参加）

❺2025ながはま健康フェスティバル（231名来場）洗い残しチェック・手洗い指導を行いました

令和8年度は、その人らしさを尊重し、つながりある支援を提供できる地域の看護実践能力向上を目指して活動してまいります

第7地区支部

支部長 岡田 裕子

【重点事業1】●9月：「入退院支援事業」として済生会滋賀県病院の西田ユカ氏、市立長浜病院の伊藤雅子氏、高島市民病院の坪井聖子氏を迎え「外来支援情報交換会」を実施。／●3月：「看護研究・活動報告会」では、7題の演題に対して滋賀県立大学人間看護学部本田加奈子先生に講評を頂き、施設ごとの取り組みについて共有できた。

【重点事業3】●9月：「卒後3年目研修」として「高島マイウエイノートについて」在宅療養支援センター大辻恵子氏より説明を頂き、ACPについての理解を深めることができた。／●10月：「新人リフレッシュ研修」では、38種類のバッチフラワーレメディの説明を受け、現在の自身の感情とその感情に対する対応の仕方を学んだ。

「湖西圏域看護ネット」活動においては、ニュースレターの発行を3回実施し、市内6施設の紹介と地域ケアフォーラムとして高島市役所健康推進課：車屋由子氏より「高島市が目指すライフステージにおける健康・福祉事業について」を説明いただき、改めて高島市の医療福祉事業と自部署の役割について確認できた。令和8年度の活動については、7年度の活動の振り返りと会員皆様のご意見を聞きながら、進めてまいりたいと思っております。皆さまどうぞよろしくお願いします。

委員会 活動報告

保健師職能委員会

委員長 西本 美和

令和7年度、保健師職能委員会では「現場の課題を共有し、より良い保健師活動につなげること」を目的に、人材育成や連携強化、保健師の確保に向けた取り組みを進めました。

人材育成では、2040年の社会変化を見据えた保健師活動を考える研修会を開催し、県外の専門家を招いて学びを深めました。グループワークでは「変えていくこと・守るべきこと」を話し合い、未来の地域づくりに向けた視点を共有しました。また、自治体保健師と地域の看護職との連携を強めるため、三職能（保健師・助産師・看護師）合同研修会への参画や、産業保健分野の看護職への講演も実施しました。多様な分野と協働し、地域を支える看護の力を広げています。

保健師の確保・離職防止に向けては、研修会での交流機会づくりや、職能だよりを通じた活動の魅力発信を行いました。看護フェアでは来場者に保健師の仕事を紹介し、職業選択の相談にも応じました。

令和7年度は、国の検討会で保健師活動指針の見直しが進む中、社会の変化を踏まえた保健師の役割を改めて考える一年となりました。今後も県民の健康を支える専門職として、学びと連携を深めながら活動を続けてまいります。

助産師職能委員会

委員長 谷川 摩里子

助産師の専門性向上と母子保健体制の強化を目的に活動しました。

- **多胎育児支援の推進：**10月の職能集会では三職能の参加者で支援のあり方を議論しました。県内の支援情報を集約し、閲覧できるデータを作成しました。
- **専門教育：**CTG研修『症例から学ぼう！胎児心拍モニタリングの理解と対応方法の実際』（8月）や「ゆりかごタクシー」研修（11月）を実施しました。助産師キャリアアップ応援事業を通じ、施設を超えた技術共有も促進しました。
- **重要課題の協議：**プレコンセプションケアの普及に向け、会議に参画し行政との連携を深めました。
- **広報とネットワーク拡大：**「助産師レター」の発行や近畿地区助産師合同研修会への参加を通じ専門知識の共有と会員確保のため非会員を含む助産師の輪を広げる活動に努めました。5月の看護フェアで「助産師の紹介動画」を放映し助産師の活動を紹介しました。
- **滋賀県内の産科混合病棟への調査：**「滋賀県の産科混合病棟におけるユニットマネジメントの現状と課題」に関する調査を実施しました。

今年度も日本看護協会の方針に基づき、滋賀の母子保健の質を高めるため、助産師としての活動や情報発信を強化していきます。

看護師職能Ⅰ委員会

委員長 小寺 利美

少子高齢化の進行に伴い医療需要が増加する一方、看護職員の離職や定着課題により、人材確保は困難な状況です。さらに、働き方に対する価値観の多様化により、従来の勤務体制では人材の確保・維持が一層難しい。

このような背景を踏まえ、委員会では就業継続の推進を目的に、多様で柔軟な働き方について検討し、県内病院を対象に調査を実施しました。その結果を交流集会で報告するとともに、3施設の看護部長による取組事例を共有しました。参加者43名全員から「参考になった」との評価が得られ、他施設の実践や管理者の関わり、対話の重要性について理解が深まりました。しかし、柔軟な働き方の実現に対する認識には役職間で差がみられ、課題が明確になりました。生涯学習支援やキャリア形成については体制整備の必要性を共有し、令和8年度の重点課題としました。さらに、看護補助者活用に関する研修会を通じて、タスクシフトや人材育成の課題を共有し、活用の手引きを作成しました。

これらの取組により現状から今後の方向性を整理し、引き続き委員会活動の充実に努めて参りたいと思います。

看護師職能Ⅱ委員会

委員長 新川 康子

看護師職能Ⅱ委員会は介護・福祉施設・在宅等領域で働く看護師で構成されています。一事業所の看護師は少人数で、広い知識が必要とされ援助を行う際に判断が求められる職能であるため、看護師一人一人が技術と共に知識の向上を目指しています。

令和7年度は協会の重点事業でもある「多職種との連携強化」を図るための相互理解が出来るよう「看護と介護は視点が違う？連携するうえで大切なことは？」と題した研修会を開催しました。その中で看護職はエビデンスを持って介護士に観察の必要性やケアの方法、情報共有の重要性を伝える責任がありそのためには自己研鑽が必要であること、連携が図れて利用者にとって良いケアが提供出来ると自身のやりがいに繋がることを理解しました。いきいきと働き続け、質の高い看護を提供するためには精神的安全性の高い職場環境が必要であり、その人らしさを尊重した最適な支援をするためには多職種との協働や連携が重要だと考えます。

また、職能Ⅱ領域には多様な働く場があることを知ってもらうために、看多機の魅力や訪問看護の専門領域である訪問看護認定看護師や在宅ケア認定看護師の魅力を掲載した職能Ⅱ通信を発行しました。

CHECK! 研修情報

8月・9月に応募が可能な研修のお知らせです

研修の詳細と申込については、
右の二次元コードからご確認ください！

9月	30㊌～	新人看護職員教育担当者研修	申 8/1～8/20 日 6日間 ¥ 無料 № 1066 Lv 研修担当者 ▶詳細は開催要項を参照してください
10月	6㊋	管理者が実践する感染管理	申 8/1～8/20 日 1日 ¥ 3,960円 № 1077 Lv マネⅡ～ ▶感染管理を、組織の力に!
	6㊋～8㊍	糖尿病重症化予防（フットケア）研修	申 8/1～8/20 日 3日間 ¥ 11,880円 № 1059 Lv 3日間受講 ▶フットケアで支える糖尿病重症化予防
	9㊏	臨床現場で役に立つ心電図（基礎編）	申 8/1～8/20 日 0.5日 ¥ 2,640円 № 1003 Lv 新人～Ⅱ ▶心電図が教えてくれる患者の変化｜読める・気づける・現場で使える基礎編です
	14㊌	症例から学ぼう！ 胎児心拍数モニタリングの理解と対応方法	申 8/1～8/20 日 0.5日 ¥ 2,640円 № 1013 Lv 助Ⅱ～・看Ⅰ～ ▶胎児はサインを出しています｜症例から深める胎児心拍数を理解しよう
	15㊍	子どもの虐待を見逃さないために ～虐待防止対応をとおして～	申 8/1～8/20 日 0.5日 ¥ 2,640円 № 1006 Lv 新人～ ▶子どものサイン、見逃していませんか｜「気のせい」で終わらせない観察力を
	16㊎	特定妊婦への支援・病産院と地域の 連携強化を目指して ～妊娠期から育児期への支援～	申 8/1～8/20 日 0.5日 ¥ 2,640円 № 1029 Lv 新人～ ▶早期支援で守る、母と子の未来｜地域と病院が連携する母子支援体制
	28㊌	准看護師のキャリアアップを考える ～知っておきたい看護の動向・進学過程・急変時の看護・交流会～	申 8/1～8/20 日 1日 ¥ 無料 № 1050 Lv 准看護師 ▶あなたの経験を次のステージへ｜キャリアを考える時間、急変時の看護も学べます
11月	11㊌	職場にウェルビーイングを ～職員も看護管理者も幸せでいるために～	申 9/1～9/20 日 0.5日 ¥ 無料 № 1069 Lv マネⅠ～ ▶幸せに働ける職場づくりが、よりよい看護につながる
	17㊋	アサーションコミュニケーションを学んで 現場に活かそう	申 9/1～9/20 日 1日 ¥ 3,960円 № 1015 Lv Ⅱ・Ⅲ ▶アサーションで変わる、看護のコミュニケーション
	18㊌	滋賀県病院勤務医療従事者 認知症対応力向上研修	申 9/1～9/20 日 0.5日 ¥ 無料 № 1055 Lv 開催要項参照 ▶病院だからこそ求められる認知症対応力を学びましょう
	20㊏	意思決定プロセス支援と アドバンスケアプランニングの重要性	申 9/1～9/20 日 1日 ¥ 3,960円 № 1018 Lv Ⅱ～ ▶揺れる意思決定に寄り添う力を「どうしたいか」を一緒に考える看護｜ロールプレイあり
	20㊏	キャリアマネジメントのための基礎知識 ～生涯学習におけるキャリア形成支援～	申 9/1～9/20 日 1日 ¥ 3,960円 № 1068 Lv マネⅠ ▶学びと成長を支える職場づくりへ
	25㊌	今、求められる感染対策	申 9/1～9/20 日 0.5日 ¥ 2,640円 № 1022 Lv 新人～Ⅲ ▶今こそ見直す、感染対策の基本と実践｜変化する時代に対応する感染対策力
	26㊍	地域包括ケア時代の継続看護 ～病院と地域の連携と協働～	申 9/1～9/20 日 1日 ¥ 3,960円 № 1020 Lv Ⅰ～Ⅳ ▶地域包括ケア時代に求められる看護の連携力｜病院と地域で支える、これからの看護
	27㊏	安全なケアを提供するために ～自部署で取り組むリスクマネジメント～	申 9/1～9/20 日 1日 ¥ 3,960円 № 1024 Lv Ⅱ～Ⅳ ▶安全なケアを支えるリスクマネジメントなどを考えましょう
	30㊊	滋賀県実習指導者フォローアップ研修	申 9/1～9/20 日 0.5日 ¥ 無料 № 1064 Lv 本研修修了者 ▶仲間との再会で指導の悩みも成長も共有しよう
12月	演習日 17㊍	外来における在宅療養支援能力向上のための研修 〈在宅療養指導料対応〉	申 9/1～9/20 日 計6時間 ¥ 3,960円 № 1058 Lv 診療所・外来勤務看護職 ▶在宅療養指導料に対応する実践力を高めましょう｜eラーニング3.5時間、演習2.5時間

申 申込期間　日 日数　¥ 受講料（税込）　№ 研修番号　Lv 対象レベル

認定看護管理者教育課程制度が変更になります！

日本看護協会では、認定看護管理者教育課程の見直しが進められており、2028年度から新たな教育課程へ移行する予定です。2040年を見据えた医療提供体制の変化に対応するため、看護職があらゆる場で必要となるマネジメント能力を段階的に習得できる教育・研修体制の構築が目指されています。

これを受け、滋賀県看護協会では「新たな認定看護管理者教育課程特別委員会」を設置し、研修プログラム等の具体的な検討を進めています。2027年度には看護管理研修（付加研修を含む）を開始し、2028年度には新たな認定看護管理者教育課程を開講する予定です。今後も最新情報を随時発信し、多くの皆さまに受講いただけるよう取り組んでまいります。各施設におかれましても、新たな教育課程への移行を見据え、計画的な看護管理者の育成を進めていただきますようお願いいたします。

		2026年度		2027年度		2028年度	
		上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
日本看護協会	現行の認定看護管理者教育課程	ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル					終了
	看護管理研修（付加研修含む）						
	新たな認定看護管理者教育課程						
滋賀県看護協会	現行のファーストレベル セカンドレベル				終了予定		
	看護管理研修（付加研修を含む）						
	新たな認定看護管理者教育課程						

滋賀県ナースセンター

SHIGA NURSE CENTER

今年度の【新規事業】のお知らせ

大規模合同就職説明会

対象　県内外の看護学生
未就業の看護職有資格者

- 日時：8月19日㊌
- 会場：びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海」
- 午前：学生向けイベント
  午後：就職説明会

ハローワークと合同就職面接会

対象　未就業の看護職有資格者及び看護補助者に興味がある求職者

- 日時：11月～1月
- 会場：圏域ハローワーク又は近隣施設
- 午前：《対象》看護補助者
  午後：《対象》看護職

2部制

中堅看護職員研修会

対象　約5～10年目の看護職

職場を超えた他施設の看護職と交流することで、職場の悩み・現状を共有する

- 日時：9月24日㊌・25日㊎ いずれか1日
- 会場：滋賀県看護研修センター

潜在看護師登録推進事業

届出制度（とどけるん）への新規登録、さらにeナースセンターに登録し、ナースセンターからの求人施設への紹介・面接で、奨励金を交付します。

その他のナースセンター予定

- 毎月開催中…… 復職支援eラーニング研修・採血注射技術演習
- 随時開催中…… 看護補助者向けオンデマンド研修
- 7月末～8月中旬… 高校生一日看護体験・中学生一日看護体験
- 7月～12月…… 魅力配達事業
- 8月9日㊐…… リハビリテーションSHIGAマルシェ（イオンモール草津）
- 8月12日㊌…… すまいるあくしょんフェスタ（ピアザ淡海）
- 9月1日㊋～…… 第2回リスタートナース研修（彦根くすのきセンター）

詳細は
ホームページをご覧ください。
予定は決まり次第、
ホームページに掲載します。
開催の様子も随時掲載
しますのでチェックしてね!!

お問合せ先
- 滋賀県ナースセンター…TEL.077-564-9494 ／ FAX.077-562-8998
  フリーダイヤル 0120-22-9494（祝祭日除く月～金9:00～17:00）
- 彦根サテライト……TEL.0749-30-1235 ／ FAX.0749-30-1233
- E-mail：nurse-center@shiga-kango.jp

詳細は
ホームページを
ご覧ください